

南相馬市駐在レポート

第3号

平成27年9月
福島県教育庁文化財課南相馬市駐在

調査継続中！

今年もとても暑かった夏ですが、調査現場にも秋風が吹くようになり、過ごしやすい季節になりました。今回は猛暑の中で取り組んだ調査の様子などをご紹介します。

1. 試掘・確認調査

文化財の調査を行う際には発掘調査だけでなく測量調査を行うこともあります。古墳など遺構が地表に残っているものではその高さや大きさを測量によって正確に記録していきます。

8月初旬に海岸防災林造成事業関連で南相馬市鹿島区の南町古墳の測量調査を行いました。今、古墳がどんな形をしているのかを知ることは、作られた当時の古墳の形、そしてそれが後世にどのように利用されてきたのかを知る手がかりになります。



平板測量機（写真右側の板の乗った三脚）で古墳の測量を行いました。（鹿島区・南町古墳）

2. 市町村支援調査－南相馬市の調査支援－

前回のレポートでは広野町への支援の様子をご紹介しましたが、南相馬市駐在では南相馬市文化財課への発掘調査の支援も行っています。7月に行われた鹿島区の八幡林遺跡の調査では、古墳時代前期（今から約1700年前）の集落跡が見つかりました。



古墳時代前期（約1700年前）の竪穴住居跡が見つかりました。（鹿島区・八幡林遺跡）



竪穴住居跡からは台付甕（煮炊きにする脚のついた土器）が出土しました。（同左）

3. 整理作業

現地での発掘調査が終了してもそれで終わりではありません。現在今年度行っている試掘・確認調査の調査報告書をつくるために、発掘調査中に現場で作成した遺構の図面の整理や出土した遺物の実測図の作成を行う「整理作業」を行っています。これも調査を行った遺跡について、ひろく知っていただくための大切な作業です。



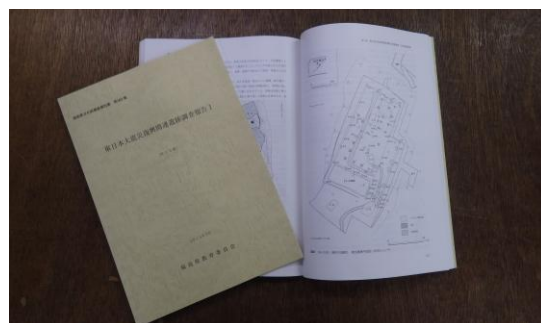
①調査で見つかった遺物は事務所に持ち帰り、水洗いをして土を落としていきます。(原町区・辻内遺跡)



②洗った土器にどこから出土したものかわかるようポスターカラーで注記をし、接合、復元を行います。



③いよいよ報告書にのせる図面をつくるための実測作業です。隣には実測待ちの遺物がまだまだ残っています...



④現場の図面や写真、文章とあわせて本にします。完成した報告書は図書館などで閲覧できます(写真は昨年度作成した調査報告書)。

4. 地域のたからもの、見にきませんか？

調査の現場では県民の皆さんに調査の様子を知っていただくため見学等の受け入れもしています。7月には南相馬市原町区の調査現場に地元の小・中学校の皆さんが見学を訪れ、発掘調査体験を行いました。実物の竪穴住居跡や土器を間近にすることで地域の歴史をより深く知っていただくことは私たちにとっても大変嬉しいことです。興味のある方は是非ご連絡ください！



南相馬市立石神第一小学校の皆さんの発掘体験の様子。この中に未来の考古学者がいるかも・・・？



竪穴住居跡の見学をする南相馬市立石神中学校の皆さん。調査員の説明を真剣に聞いています。